

調査結果の概要

I 耕地面積及び耕地の拡張・かい廃面積

1 耕地面積（田畑計）

(1) 平成19年7月15日現在の全国の耕地面積（田畑計）は465万haで、開墾や自然災害からの復旧による拡張があったものの、宅地等への転用、耕作放棄等のかい廃があったことから前年に比べて2万1,000ha（0.4%）減少した。

農業地域別にみると、関東・東山で4,700ha、九州で3,400ha、北海道及び東北で3,000haそれぞれ減少している。

近年のかい廃面積は、平成7年の5万300haを最高に、その後減少傾向で推移している。

（図1）

(2) 水田率は54.4%で、前年並みであった。

農業地域別にみると北陸が89.7%で最も高く、次いで近畿の77.5%、中国の76.7%の順となっている。（表1）

(3) 耕地率は12.5%で、前年並みであった。

農業地域別にみると沖縄が17.2%で最も高く、次いで関東・東山の15.1%、北海道の14.8%の順となっている。（表1）

表1 平成19年田畑別耕地面積（全国農業地域別）

全 農 業 地 域	計									水 田 率	耕 地 率
	面 積	前年との比較		面 積	前年との比較		面 積	前年との比較			
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比		
		%			%			%		%	%
全 国	4 650 000	△ 21 000	99.6	2 530 000	△ 13 000	99.5	2 120 000	△ 8 000	99.6	54.4	12.5
北 海 道	1 163 000	△ 3 000	99.7	226 000	△ 800	99.6	937 100	△ 1 700	99.8	19.4	14.8
東 北	877 500	△ 3 000	99.7	626 500	△ 2 000	99.7	251 000	△ 900	99.6	71.4	13.1
北 陸	321 300	△ 1 100	99.7	288 100	△ 1 100	99.6	33 200	0	100.0	89.7	12.7
関 東・東 山	763 600	△ 4 700	99.4	422 500	△ 3 200	99.2	341 100	△ 1 500	99.6	55.3	15.1
東 海	277 000	△ 2 800	99.0	163 500	△ 1 700	99.0	113 500	△ 1 100	99.0	59.0	9.4
近 畿	237 800	△ 1 100	99.5	184 400	△ 1 000	99.5	53 300	△ 300	99.4	77.5	8.7
中 国	255 300	△ 1 300	99.5	195 700	△ 1 300	99.3	59 600	0	100.0	76.7	8.0
四 国	148 800	△ 1 300	99.1	94 300	△ 600	99.4	54 500	△ 800	98.6	63.4	7.9
九 州	566 600	△ 3 400	99.4	328 000	△ 1 500	99.5	238 600	△ 1 900	99.2	57.9	13.4
沖 縄	39 100	△ 100	99.7	879	5	100.6	38 200	△ 200	99.5	2.2	17.2

注：1 水田率は、耕地面積（田畑計）のうち、田面積が占める割合（%）である。

2 耕地率は、総土地面積のうち、耕地面積（田畑計）が占める割合（%）である。

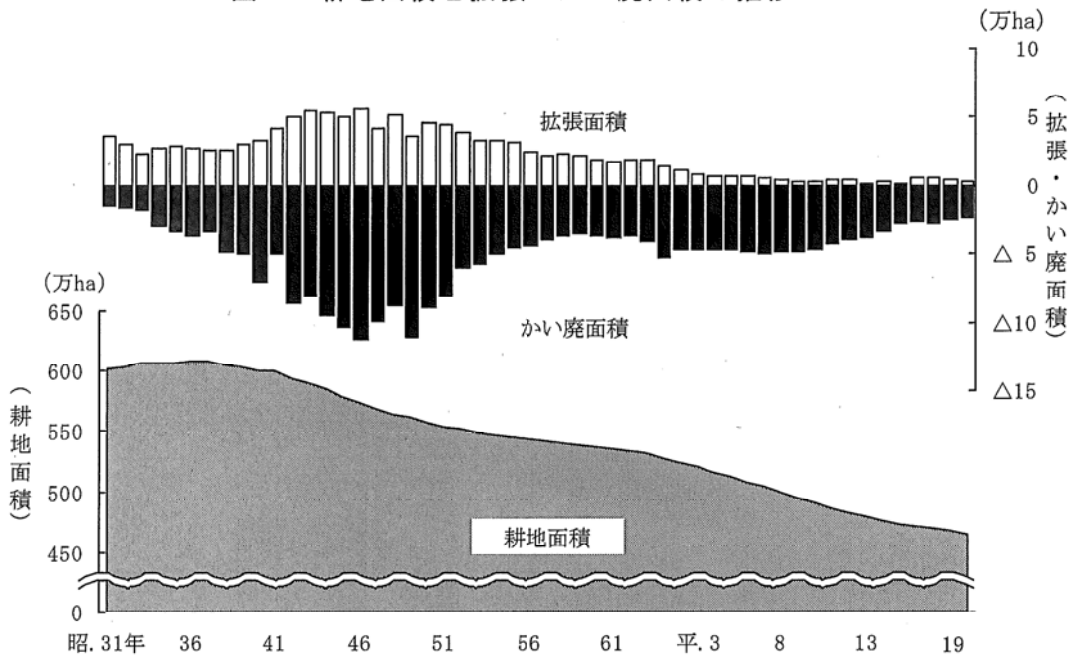
なお、この総土地面積は、国土交通省国土地理院『平成18年全国都道府県市区町村別面積調』による。

(4) 耕地面積の動向をみると、昭和30年代初めは増加傾向で推移したが、36年の608万6,000haを最高にその後年々減少し、41年には599万6,000haと600万haを下回った。その後も高度経済成長のもと、宅地等への転用が大幅に増加したことなどから減少幅が大きくなったが、50年代に入ると、耕地面積の減少は40年代に比べ緩やかになった。

平成元年以降は、増加要因である開墾等が減少する一方で、減少要因である宅地等への転用や耕作放棄等によるかい廃は継続的に発生しているために減少幅が大きくなり、8年

には499万4,000haと500万haを下回った。その後、減少率は鈍化しているものの耕地面積は減少を続けており、平成19年は465万haとピークであった昭和36年に対して76.4%となっている。(図1)

図1 耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



2 田耕地面積

(1) 平成19年7月15日現在の田耕地面積は253万haで、前年に比べて1万3,000ha (0.5%) 減少した。農業地域別に減少面積をみると、関東：東山が3,200haで最も大きく、次いで東北の2,000ha、東海の1,700haの順となっている。(表1)

(2) 田の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は643haで、災害からの復旧が多かった前年に比べて1,130ha減少した。(表2)

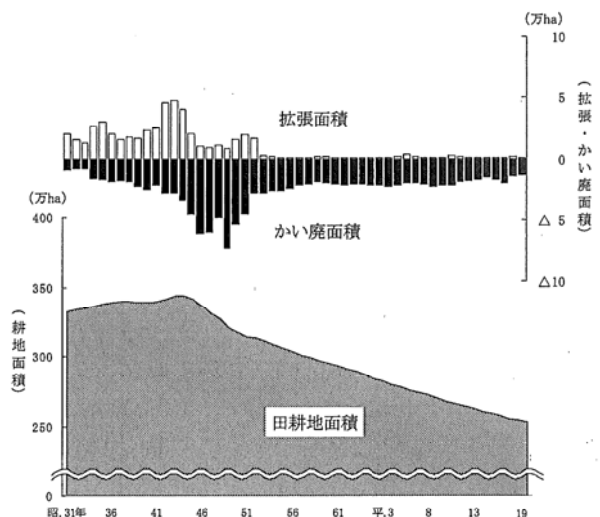
一方、かい廃面積は1万3,700haで、宅地等への転用が増加したものの、畑への転換等が減少したことから前年に比べて1,100ha減少した。(表3)

近年のかい廃面積は、自然災害の影響等により平成16年及び17年で増加が見られたものの、9年の2万3,100haを最高にその後減少傾向で推移している。(図2)

表2 平成19年田の拡張面積(全国農業地域別)

全農業地域	国域	拡張(増加要因)				
		計	開墾	干拓・埋立て	復旧	田畑転換
全国	計	643	42	-	568	33
	対前年差	△1,130	9	-	△1,090	△47
北海道		0	-	-	-	0
東北		34	14	-	8	12
北陸		312	1	-	290	21
関東・東山		2	2	-	-	0
東海		5	-	-	5	0
近畿		223	-	-	223	-
中国		7	-	-	7	-
四国		12	1	-	11	0
九州		36	12	-	24	-
沖縄		12	12	-	-	-

図2 田耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



(3) 田耕地面積の動向をみると、昭和40年代前半まで増加傾向であったが、44年の344万1,000haを最高にその後減少傾向で推移し、平成19年は253万haとピークであった昭和44年に対して73.5%となっている。これは、米の生産調整の実施により開墾等が抑制され、畑への転換が行われたとともに、宅地等への転用、耕作放棄等のかい廃が継続的に発生しているためである。(図2)

表3 平成19年田のかい廃面積(全国農業地域別)

単位: ha

全 農 業 地 域	計	か い 廃 (減 少 要 因)									田 畑 転 換	
		自 然 災 害	人 為 的 減 少 要 因									
			小 計	工 場 用 地	道 路・鉄 道 用 地	宅 地 等	農 林 道 等	植 林	そ の 他	耕 作 放 棄		
全国	計	13 700	44	10 100	782	906	4 610	190	197	3 420	3 000	3 560
	対前年差	△ 1 100	3	0	87	△ 60	160	△ 117	9	△ 90	△ 10	△ 1 130
北 海 道		763	-	147	19	12	35	24	8	49	33	616
東 北 道		2 070	-	1 620	76	184	498	27	14	818	611	450
北 陸 道		1 440	7	1 090	90	175	445	17	12	348	316	346
関 東 ・ 東 山 道		3 170	1	1 980	121	140	1 020	19	12	668	646	1 190
東 海 道		1 680	-	1 370	154	84	763	20	35	317	274	308
近 畿 道		1 140	-	987	130	52	594	32	11	168	141	156
中 国 道		1 320	28	885	66	46	382	11	30	350	327	404
四 国 道		603	1	553	31	54	325	8	11	124	113	49
九 州 道		1 520	7	1 470	95	159	547	32	64	570	531	47
沖 縄 県		7	-	7	-	-	-	-	-	7	7	-

3 畑耕地面積

(1) 平成19年7月15日現在の畑耕地面積は212万haで、前年に比べて8,000ha(0.4%)減少した。農業地域別に減少面積をみると、九州が1,900haと最も大きく、次いで北海道の1,700ha、関東・東山の1,500haの順となっている。(表1)

(2) 畑の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は5,300haで、田からの転換等が減少したことから前年に比べて1,610ha減少した。(表4)

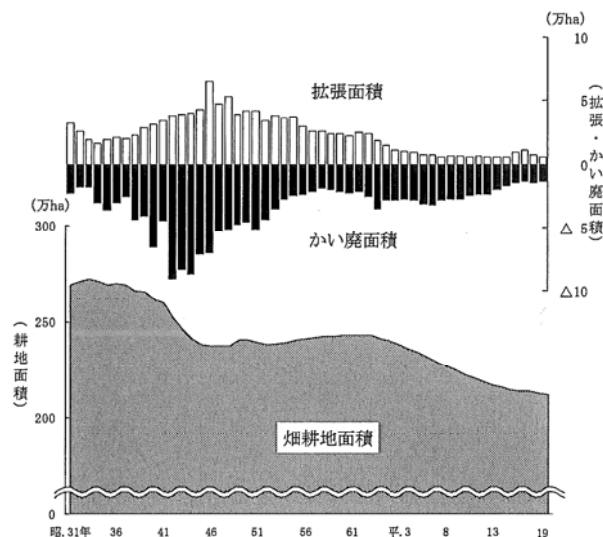
一方、かい廃面積は1万3,600haで、宅地等への転用が増加したものの、耕作放棄等が減少したことから前年に比べて600ha減少した。(表5)

なお、かい廃面積のうち耕作放棄面積は7,410haで、これを農業地域別にみると北海道が1,980haで最も多く、次いで九州の1,190ha、東北の1,120haの順となっている。(表5)

表4 平成19年畑の拡張面積(全国農業地域別)

図3 畑耕地面積と拡張・かい廃面積の推移

全 農 業 地 域	計	拡 張 (増 加 要 因)				田 畑 転 換
		開 墾	干 拓 ・ 復 旧			
			埋 立 て	田 畑 転 換		
全国	計	5 300	1720	-	18	3560
	対前年差	△ 1 610	△ 360	-	△ 122	△ 1 130
北 海 道		1 020	402	-	4	616
東 北 道		812	362	-	-	450
北 陸 道		382	36	-	0	346
関 東 ・ 東 山 道		1 460	276	-	-	1 190
東 海 道		381	73	-	0	308
近 畿 道		245	87	-	2	156
中 国 道		546	142	-	0	404
四 国 道		193	140	-	4	49
九 州 道		103	48	-	8	47
沖 縄 県		156	156	-	-	-



近年のかい廃面積は、平成7年の3万2,100haを最高に、その後減少傾向で推移している。(図3)

(3) 畑耕地面積の動向をみると、昭和33年の271万9,000haを最高に、34年以降は減少傾向で推移し、40年代前半は田や宅地等への転換、植林等により減少幅が大きくなり、45年には240万haを下回った。その後、53年から62年にかけて開墾等による拡張や田への転換の抑制等により増加傾向で推移し、62年には243万haとなった。しかし、63年以降は開墾等の拡張が大幅に減少する一方で、かい廃は継続的に発生しているために再び減少傾向となり、平成19年は212万haとピークであった昭和33年に対して78.0%となっている。(図3)

表5 平成19年畑のかい廃面積(全国農業地域別)

単位: ha

全 農 業 地 域	計	か い 廃 (減 少 要 因)									田 畑 転 換	
		自 然 災 害	人 為				か い 廃					
			小 計	工 場 用 地	道 路・鉄 道 用 地	宅 地 等	農 林 道 等	植 林	そ の 他	耕 作 放 棄		
全国	計	13 600	12	13 600	590	547	3 790	364	407	7 860	7 410	33
	対前年差	△ 600	1	△ 500	148	25	360	△ 97	△ 31	△ 980	△ 1 030	△ 47
北 海 道		2 680	6	2 680	42	112	203	178	44	2 100	1 980	0
東 北		1 760	0	1 740	48	62	295	25	51	1 260	1 120	12
北 陸		365	0	344	8	41	99	4	10	182	167	21
関 東・東 山		2 960	1	2 960	282	103	1 590	28	43	911	854	0
東 海		1 550	0	1 550	76	62	693	16	63	644	607	0
近 畿		487	-	487	16	56	140	10	13	252	230	-
中 国		561	4	557	18	16	142	14	10	357	345	-
四 国		926	-	926	11	19	98	2	26	770	746	0
九 州		2 040	1	2 040	71	73	450	79	147	1 220	1 190	-
沖 縄		272	-	272	18	3	73	8	-	170	167	-

(4) 畑耕地面積を種類別にみると、普通畑が117万2,000ha、樹園地が32万3,900ha、牧草地が62万4,000haとなっており、これを前年と比較すると普通畑は1,000ha(0.1%)、樹園地は4,400ha(1.3%)、牧草地は3,400ha(0.5%)それぞれ減少した。(表6)

畑種類別の面積割合は、普通畑が55.3%、樹園地が15.3%、牧草地が29.4%となっている。(表6)

表6 平成19年畑種類別面積(全国農業地域別)

単位: ha

全 農 業 地 域	計			普通畑			樹園地			牧草地		
	面 積	前年との比較		面 積	前年との比較		面 積	前年との比較		面 積	前年との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
全 国	2 120 000	△ 8 000	99.6	1 172 000	△ 1 000	99.9	323 900	△ 4 400	98.7	624 000	△ 3 400	99.5
(構成比%)	(100.0)			(55.3)			(15.3)			(29.4)		
北 海 道	937 100	△ 1 700	99.8	413 600	1 200	100.3	3 290	△ 70	97.9	520 200	△ 2 800	99.5
東 北	251 000	△ 900	99.6	135 100	100	100.1	52 000	△ 700	98.7	63 900	△ 400	99.4
北 陸	33 200	0	100.0	25 200	200	100.8	5 780	△ 60	99.0	2 260	△ 30	98.7
関 東・東 山	341 100	△ 1 500	99.6	275 500	△ 600	99.8	55 500	△ 600	98.9	10 100	△ 200	98.1
東 海	113 500	△ 1 100	99.0	61 800	△ 500	99.2	48 700	△ 700	98.6	2 890	△ 80	97.3
近 畿	53 300	△ 300	99.4	17 900	0	100.0	34 800	△ 200	99.4	570	△ 11	98.1
中 国	59 600	0	100.0	37 400	200	100.5	18 600	△ 200	98.9	3 610	0	100.0
四 国	54 500	△ 800	98.6	17 100	100	100.6	36 700	△ 900	97.6	657	△ 1	99.8
九 州	238 600	△ 1 900	99.2	158 100	△ 1 000	99.4	66 500	△ 1 000	98.5	14 000	0	100.0
沖 縄	38 200	△ 200	99.5	30 500	△ 200	99.3	2 020	20	101.0	5 730	50	100.9